

## 令和2年度 第1回松山地域協議会

日 時 令和2年6月25日(木) 午後1時25分～2時55分

場 所 松山農村環境改善センター 大ホール

出席委員 13名

齋藤 明、齋藤 吉男、阿部 喜久子、後藤 吉史、  
富樫 とも子、荘 司 東一、佐藤 玲子、齋藤 薫、  
小田 和夫、平向 邦夫、松本 允夫、佐藤 均、  
本間 京子

欠席委員 2名

佐藤 徳康、樋坂 仁

酒田市出席者

企画部企画調整課長	中村 慶輔
企画調整係長	関口 誠
市民部まちづくり推進課長	長尾 和浩
まちづくり推進課長補佐	松永 隆
地域づくり係主事	讃岐 祐香
松山総合支所長兼地域振興課長	柿崎 弘志
建設産業課長	出嶋 亨
地域振興課長補佐	堀 浩幸
地域振興課地域振興主査	齋藤 圭
地域振興課地域振興係長	阿彦 求
建設産業課長補佐兼建設係長	石川 亮一

傍聴者 0名

議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事録署名人の指名
- 4 議 事

## 【説明事項】

(1) 新市建設計画の変更について

(2) 過疎計画の策定について

## 【報告事項】

(1) 令和元年度市長報告会について

(2) 令和2年度松山総合支所管内の主な事業について

5 その他

6 閉 会

## 1 開 会

(柿崎支所長)

○地域協議会開会宣言

○欠席者の確認 佐藤 徳康 委員、 樋坂 仁 委員

## 2 会長あいさつ

○昨年の1回目の協議会は5/28に開催したが、今年はコロナの影響で1か月遅れの開催となった。

○松山小学校を訪問し、この地域に賑やかさが戻ってきたと感じた。コロナの影響で市内の学校では「いじめ」があったと聞いている。

○今日の議題は重要な内容となっているので、審議のほどよろしく願います。

## 3 議事録署人の指名

○本協議会の議事録署名人 後藤 吉史 委員

## 4 議 事

(小田会長)

議事に入ります。「(1) 新市建設計画の変更について」、企画調整課長より説明をお願いします。

(企画調整課長)

～資料に基づき説明～

(小田会長)

ご質問、ご意見ありますか。

(後藤委員)

新市建設計画は記載内容に変更がなく、期間のみの延長となるのか。

(企画調整課長)

期間の延長とともに、人口等の主要な指標も実績値と今後の推計値によって時点修正する。また、中期財政計画も修正するのでそれを踏まえて新市建設計画も見直していきたいと考えている。

(後藤委員)

国から補填される起債については変更がないのか。

(企画調整課長)

合併特例債の使い方について、5年間延長して先の事業を見据えて形で何に使用するのか、市が原案を考えて皆様にお諮りし議会に示しながら今後5年間合併特例債を有効に使っていきたいと考えている。

(小田会長)

ほかにございませんか。以上で本件については終了します。

～企画調整課が退席し、まちづくり推進課が着席～

(小田会長)

次に「(2) 過疎計画の策定について」、まちづくり推進課長より説明をお願いします。

(まちづくり推進課長)

～資料に基づき説明～

(小田会長)

ご質問、ご意見ありますか。

(齋藤明委員)

現行の過疎計画の中身について、わかる範囲でお聞きしたい。

(まちづくり推進課長)

現行の過疎計画の大枠を説明。口頭ではわかりづらいので10月の新市建設計画に併せて過疎の原案を示したい。

(阿部委員)

過疎計画は何年間の計画となるのか。

(まちづくり推進課長)

国がこれから法律を決めるので明確にはされていないが、5年の期間と考えている。

(小田会長)

現行の過疎が満了となりまだ法律は出来ていないが、新たな内容が盛り込まれるのか。今年

度は国勢調査もあるので、その数値も参考とするのか。

(まちづくり推進課長)

基本的な事項は、最新のデータ内容を盛り込むこととなる。何よりも三地域の持続的な発展というところが大切で、そのことを考えて計画としてまとめたい。

(小田会長)

適用範囲は、旧三町として認識してよいか。

(まちづくり推進課長)

そのとおり。合併前の旧三町地域それぞれで記載している。

(後藤委員)

新市建設計画と過疎計画が並行的に進むわけだが、この地域の課題に対するアプローチとしてどちらの起債が使えるかということになると思う。この地域の課題にあったアプローチ（どういう手法をとるかという取り組み）でお願いしたい。

(小田会長)

副市長が人口動態の内容を出していたが、これによると10年後は大変な人口の変化が見られる。仮にこの過疎計画は5年先の中間年に差し掛かるわけで、10年先を見据えるとなるとこの地域の課題をいかにして克服するか重要な計画になるので、今後1年掛けてまとめることになるのでよろしくお願いしたい。

ほかにございませんか。以上で本件については終了します。

～まちづくり推進課が退席～

(小田会長)

次に報告事項になりますが「(1) 令和元年度市長報告会について」、事務局より説明をお願いします。

(支所長)

市長報告会は昨年3月25日に実施。当地域からは小田会長と阿部副会長が出席しました。

市長に報告した内容に基づき作成されて議事録より、この地域に関することと全体に関する市長の意見を中心に説明する。

市長より松山地域の地域協議会の在り方について、「祭りに関すること」「交通に関すること」など地域として難しいことを抱えているので、警察の協力が必要ということで署長が協議会に来ていただけるような方法を画策してもよいのではないかと。

松山能に関しては「能および砲術も含めて素材がいっぱいあるので歴史に磨きをかけていただければ」とのこと。「眺海の森さんさん」については、なかなか大変である。宿泊が9部屋しかなく採算が取れないので、賃貸住宅及びコワーキングオフィスを検討しているのももう少し

時間が欲しい。

全体的話として、地域が主体的に動いてほしいと話している。八幡については地域の動きが強いと市長が認識している。何かしてほしい場合は地域で動いていくことを考えてほしい。

また、文化芸術基本条例を教育委員会で作成したが、県と酒田市だけで松山のために作ったようなもの。伝統文化の条例を基にして地域でうまく使ってほしいと市長が言っている。

市長報告会の議事録は事前資料として配付していないので、聞きたいことがありましたら柿崎か出嶋まで問い合わせいただきたい。

(小田会長)

ご質問、ご意見ありますか。

質問、意見が無いようなので次に移ります。

「(2)令和2年度松山総合支所管内の主な事業について」、事務局より説明をお願いします。

(支所長)

～資料に基づき説明～

コロナの影響で小学校が3月1日から5月の連休明けまで休校になっていた。この期間で出来なかった事業については割愛し、これから何が出来るのかを説明する。ただし、大きい事業で中止になったものは説明する。

【ひとづくり・交流・教育】の青少年国内外交流事業については、アメリカ及び鹿児島ですが鹿児島は学校と相談して相互交流を中止とした。アメリカはコロナ患者が毎日2万人程度発生しているので、派遣することができないと判断し中止とした。

これから実施する事業として、【地域産業・観光・文化】の松山地域で一番集客が見込める事業のくらふとフェアを東北六県プラス新潟県に限定して、3密を避けるため野外イベントで実施する。土田先生の「まつやまくまくん教室」は、秋の事業は中止。12月の事業について土田先生と調整をしていく。

松山の宝推進事業については、「甲冑着付け講座」から「大手門ピアノ」まで実施したいと考えている。7月から「茶話会」を開催する。また、「ホテル観賞」を山寺地区で昨日から開催している。

全体の事業で確実に出来るものを実施していくが、秋からの第2波が発生した場合は中止も視野に入れなければならない。予算の組み替え等があった場合は、あらためて本協議会諮る。

(出嶋課長)

～資料に基づき説明～

【地域産業・観光・文化】の松山地域観光物産支援事業については、4月から現在までの事業は実施していない。「LIVE WORLD in 眺海の森」はライブハウスのような密の状況になるた

め、開催の可否についてはやり方を含めて慎重に検討する。「松山絵灯籠まつり」は、密にはならないため実施の方向で考えている。

「城下町松山秋まつり」は、密にならない方法を検討し開催の可否を判断するが、本庁各課で担当する秋イベントがほとんど中止の決定をしているため、ライブ同様やり方を含めて検討していく。

「眺海の森親子写真教室・星空教室」は、2～3日前に天体観測館で日食を見る会を開催したところ、90人程度の集まったと聞いている。野外で行う場合は密を避けられるが、屋内の場合は密を避けられないため協議が必要である。大手門会議は状況に応じて検討します。

【安心・安全のまちづくり】については、コロナに関係なく事業を実施していきます。

【地域産業・観光・文化】の松山農産物加工所維持管理事業は、コロナの影響でしばらく閉鎖していたがタケノコの時期に間に合った。今後、第2波が発生した場合はまた閉鎖もあり得る。

(小田会長)

関連の行事予定など何かありますか。

(後藤委員)

4地域のコミュニティ振興会連絡協議会の事務局を担当しているので、主な協議済みの事業を報告する。春の運動会は実施をしない決定をした。ただし、秋の何らかの開催について検討課題になっていたが、小学校の状況等を聞きながら最終的に運動会は実施しないこととした。また、夏祭りについてはそれぞれコミュニティ振興会で対応が違うようだが、4コミ振の事務局で調整をしながら進めていく、それぞれでの実施判断になる。敬老会についても、それぞれの実施判断の事務局により調整するが、まだ実施するかは未定となっている。

(齋藤吉委員)

山寺は夏祭りを実施したいと考えているが、首都圏から帰省する人もいるので何らかの対策を講じなければならないが、まだ計画中である。急にやりたいといっても出来ないので準備だけはしている。

(齋藤明委員)

南部は昨日理事会を開いて、これからの行事をどのようにするか話し合いをした。夏祭りについては、実行委員の話を聞きながら決めようとのことからまだ結論は出ていない。ただ、夏祭りと一緒にやっているグラウンドゴルフは実施することとしている。敬老会については、コミ振事務局でまち課に状況を確認したところ、各自の判断で3密に気を付けてほしいとのことから、中止して饅頭と記念品を配って今年度の対応としたいと話している。

(荘司委員)

他のコミ振と同様歩調で、前半の段階ではコロナ拡大等に対処するため事業を中止した。

(後藤委員)

出来るだけ足並みを揃えられるものは揃えるということで、先日協議した部分で決定したものと、これから事務局で連絡を取りながら判断をしていくものがあると思う。共通で決定した方が良いものと、それぞれの判断の部分とは少し分かれていくものが出てくると思っている。

(小田会長)

小学校でいえば、水泳の事業・大会は中止ということでした。

主要事業の概要について、ご意見、ご質問はありませんか。

(荘司委員)

内郷コミュニティ振興会では、地域コミュニティの見直しを行って、旧町時代と違ってコミュニティに対する考え方も少し変わってきているのではないかとということで、一つの小学校区域に4つのコミセンがある。それから中学校も旧平田町と旧松山町が一体となって一つの中学校区を作っているわけで、以前より地域コミュニティに対する考え方を変えていかないと少子高齢化の時代に対応できないのではないかとということで、各自治会の会長にアンケート調査を行いながら様々な、新たな内郷地区の課題を掘り起こしている。今後その課題をいかにして解決していくかという方向で進んでいる段階です。その中で2つほど質問したい。

一つ目は生涯学習施設「里仁館」運営支援事業であります、コミ振事業と各自治会の事業推進について生涯学習面にとってみると、住民から見るとかなりマンネリ化して興味がわかない、参加者が年々減少している。この課題をいかにして解決していくか部内でも検討しているが、生涯学習施設「里仁館」が創立してから令和3年で20周年になるということで、様々な講座を通して酒田地域や庄内地域の方々から大いに親しまれていると思いますが、今後20周年を機に地域密着型で検討いただければありがたい。内郷地区でも様々なフィールドワークが可能な地域があるわけで、その辺を取り入れて出前講座などの方法で受講者の拡大を図る。また、内郷地区のメリットとして新たな講座に参加できるので検討いただきたい。

2つ目は、【安心・安全のまちづくり】についてですが、内郷地域は旧平田町に接しており地域間の交流が密接にあります。今年に入ってから相沢川のハザードマップが相沢川沿いの自治会に配付され、地域住民は災害時の心強い支援になったと大変喜んでいました。内郷地域に掛かる3本の橋のうち新山橋が洪水時に水面と架橋部の間隔が狭くなり流木などが接している。さらに雨量が増した場合、かなり危険な状態になるのではないかと。大雨時の相沢川の水量調査の実施と情報公開をお願いしたい。

(支所長)

相沢川の橋の件については、別の形で照会する。最上川の水量増加については、国で川の流

水をスムーズにするため樹木の伐採を行っている。要望のあったことについては、関係機関にお願いしたいと思っている。

(佐藤均委員)

「くらふとフェア」以外の事業について、今までの開催方法で密になるとの理由から中止を考えるのではなく、くらふとフェアのように条件を考えて開催することは考えてないか。

(出嶋課長)

出来る限り密を避ける形での事業を考えていくが、どうしても密を避けられないと判断した場合には、中止も視野に入れて検討していく。

(小田会長)

これから第2波、第3波が来れば変わる可能性は十分にあり、それを踏まえて説明していただいたと理解している。商工会関係で何かありませんか。

(齊藤薫委員)

役員会において、いろいろな状況を役員から発表していただいた。いろいろなイベント・地域振興事業は、他の団体の取り組み同様にコロナの拡大を見ながら独自事業も考えていかなければならない。今までどおりには出来ないので、縮小してでも形を変えて実施出来ればとの意見があった。

(小田会長)

事業に関しては、今のような理解でよろしいですね。荘司委員の発言内容は、その他に入ると思いますので地域の要望として取りまとめて出していきたい。

(荘司委員)

内郷コミ振と自治会連で綿密にタイアップしてまいりたい。

(出嶋課長)

【安心・安全のまちづくり】デマンドタクシー運行事業の松山庄内町線のPRを行う。

(平向委員)

地域おこし協力隊の取り組み状況について、どのようになっているかお聞きしたい。

(支所長)

現在2名の募集をしているが、応募者はいない状況である。今後に向けて、まちづくり推進課と相談しながら松山地域が目立つようなPR方法を考えていきたいと思っている。

(小田会長)

デマンドタクシーの利用状況はどうか。

(支所長)

4月から運行し12件の利用があった。南部からの要望で運行となったが、現在は内郷地区



からの利用もあり少しずつ増えているのでPRをお願いした。

(小田会長)

酒田市では特別な手立てをして市外に運行させたので、是非活用いただきたいと思う。

その他、松本委員ありませんか。

(松本委員)

ありません。

(佐藤均委員)

酒田市ではコロナの軽症患者の受け入れ先に「さんさん」を案としてあげたと聞いたが、その後、別の受け入れ先が見つかり使用しなかったと聞いた。今後どのようになるのか聞きたい。

(支所長)

正確に言いますと患者の受け入れ先ではなく、家族が感染した場合、感染者から罹患する恐れのある家族の受け入れ先です。結果的に使用しないで終わったとの連絡があった。

(佐藤玲委員)

《松山総合支所の課題等》の3 公共施設適正化ですが、旧内郷小学校の活用に向けた動きを早くしてほしい。6 眺海の森利用拡大策の事業化でも事業を考えてほしい。

(支所長)

アートプレイセンターについては、今も教育委員会で検討中である（コロナ対策で遅れている状況）。眺海の森については、ほとんどが県管理であるため、酒田市の重要事業要望として眺海の森の整備を県に要望している。木の管理や森林学習展示館に関することなどです。その中で酒田市が出来ること、支所が出来ることやっていく。

「さんさん」については市長からも直接言葉があったように、「さんさん」としての使い方だけでなく別の使い方を検討することから見守ることとなる。

(富樫委員)

すべてがコロナの影響で事業展開が出来なくなっている。一番は子供たちの学べる場が限られている。中学生・高校生が楽しい学生生活が送れるように何とかしたいという思いがある。

また、眺海の森の利用拡大ということで、いろいろ検討されているようですが、どのような手立てがあるか自分にもわからないが、「さんさん」に灯りが点っていないという寂しさがある。

(支所長)

保護者に聞いた話で、学校が始まってから3学期の途中の授業をしていると聞いていたので、子供たちは大変だと認識している。プールの話もあったが、子供たちが普通の生活に戻れるように学校教育課でも頑張っている。夏休みも少ないと聞いているので、地域で救えるものを見つけていただきたい。

眺海の森については、土日に行ってみると結構な人数が遊びに来ている。県外ナンバーも見えるので外に向けた情報発信を考えたい。

(本間委員)

昨年度第1回目の協議会で山寺の通学路のカラーリングの提案があったが、進行状況をお聞きしたい。

(支所長)

報告が漏れてしまい申し訳ありません。市長報告会で市長より報告があり、県で動いている。要望の手順が早かったので県から早く動いていただいた。

(阿部委員)

山寺多目的グラウンドに多くの利用者あり、知っていただいてよかった。酒田市の攻めの姿勢で、酒田市に移住とかの方法があったらどんどん進めてほしい。

(支所長)

移住については、6月議会でも出ましたが、なお、この会議でも出たことを報告します。

(小田会長)

その他、無いでしょうか。無いようですので、本件については終了します。

## 5 その他

(小田会長)

ハーバーラジオで眺海の森をPRしてはどうか。眺海の森にはトイレがないのが難点。

予定していた案件は以上ですが、委員の皆さんから何かありますか。

(企画調整課長)

～「デジタル変革で地域を幸せに！」について、資料に基づき説明～

(小田会長)

何か質問ありますか。

～質疑なし～

## 6 閉会

(小田会長)

それでは、これをもちまして第1回松山地域協議会を終了いたします。委員の皆さま方には円滑な議事進行にご協力を賜りありがとうございました。